

資料 1

第7回健康はこだて21次期計画策定委員会 資料

健康はこだて21

(第2次)

素 案

(たたき台③)

平成 年 月

函館市

目 次

第1章 基本的事項

1 計画策定の背景	1
2 計画の目的	2
3 計画の位置付け	2
4 計画の期間	2
5 計画の基本的な方向	2
6 健康づくりが目指す姿	3

第2章 市民の健康状況

1 統計からみた市民の健康等	4
(1) 人口と年齢階級別比率の推移	4
(2) 平均寿命と健康寿命	5
(3) 主要死因	6
(4) 要介護高齢者の状況	8
2 市民の健康と生活習慣の現状と課題	9
(1) がん	9
(2) 循環器疾患	9
(3) 糖尿病	10
(4) 栄養・食生活	11
(5) 身体活動・運動	13
(6) 休養・こころの健康	14
(7) 喫煙・飲酒	16
(8) 歯・口腔	18
3 健康はこだて21（第1次）の最終評価	19

第3章 健康づくりの目標と取組

1 ライフステージごとの健康づくり	22
2 次世代（18歳未満）の目標と取組	23
(1) 目指す姿	23
(2) 健康目標と取組	23
3 働く世代（18歳から64歳）の目標と取組	27
(1) 目指す姿	27
(2) 健康目標と取組	27

4 高齢期（65歳以上）の目標と取組	34
（1）目指す姿	34
（2）健康目標と取組	34

第4章 健康づくりの推進

1 推進体制	40
2 進行管理と評価	40

資料編

○ 本計画の各ライフステージの目指す姿と健康目標一覧	41
○ 本計画の指標一覧	42
○ 健康はこだて21次期計画策定委員会委員名簿	48
○ 計画策定の経過	49
○ 健康はこだて21次期計画策定委員会設置要綱	50

第1章 基本的事項

1 計画策定の背景

我が国では、急速な人口の高齢化や生活習慣の変化により、疾病構造が変化し、疾病全体に占めるがん、循環器疾患および糖尿病等の生活習慣病の割合が増加し、これに伴う要介護者等の増加も深刻な社会問題となっています。

国は、こうした状況に対応し、全ての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会にするため、平成12年に「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」を策定し、国民が主体的に取り組める国民健康づくり運動として推進してきました。これに伴い、北海道では平成13年に「すこやか北海道21～北海道健康づくり基本指針～」を策定し、到達すべき目標を定め各種事業に取り組んできました。

その後、国では、平成24年7月に新たな健康課題や社会背景等を踏まえ、平成25年度からの新たな方針となる「健康日本21（第2次）」を策定し、平成25年3月には、北海道の新たな計画が策定されました。

本市においては、全国平均を上まわる少子高齢化の進展や生活習慣病が死因の約6割を占める状況にあることから、市民一人ひとりの健康づくりを地域全体で支援することを基本として、生活習慣を改善することにより健康を増進し、生活習慣病の一次予防を重視した「健康はこだて21」を平成14年度に策定し、その後、平成18年に実施した中間評価の結果などから明らかになった健康課題を踏まえ、重点取組を定めるなどの改訂を行い、平成20年度からは「健康はこだて21－改訂版－」として市民の健康づくりを推進してきました。

この「健康はこだて21－改訂版－」の計画期間が平成24年度で終了することから、その最終評価の結果やその後の状況変化などを踏まえ、必要な見直しを行い、「健康はこだて21（第2次）」として本計画を策定しました。

2 計画の目的

市民一人ひとりが心身共に健やかに生活できるようにするため、生活習慣の改善および社会環境の整備により、健康寿命の延伸を図ります。

3 計画の位置付け

この計画は、健康増進法に基づき本市の特性を踏まえて策定する健康づくりの計画であり、新函館市総合計画（平成 19 年度～28 年度）の「共に支えあい健やかに暮らせるまち」の実現を具体化する個別計画の一つとして位置付け、他の諸計画（食育推進計画、特定健康診査等実施計画等）との整合性を図っていきます。

4 計画の期間

平成 25 年度から平成 34 年度までの 10 年間とし、適宜、中間評価を行い、必要に応じて計画の見直しを行います。

5 計画の基本的な方向

○ 生活習慣病の発症および重症化の予防

生活習慣病（がん、循環器疾患、糖尿病、COPD（慢性閉塞性肺疾患）※）に対し、生活習慣の改善による発症予防と、合併症の発症や症状の進展など重症化の予防を重視した対策を推進します。

○ 健康を支え、守るための社会環境の整備

個人の健康を支え、守るために、行政機関のほか、企業や各種団体が自主的または連携して家庭、学校、地域、職場等において健康づくりを推進できる社会環境の整備を進めます。

○ ライフステージごとの健康づくり

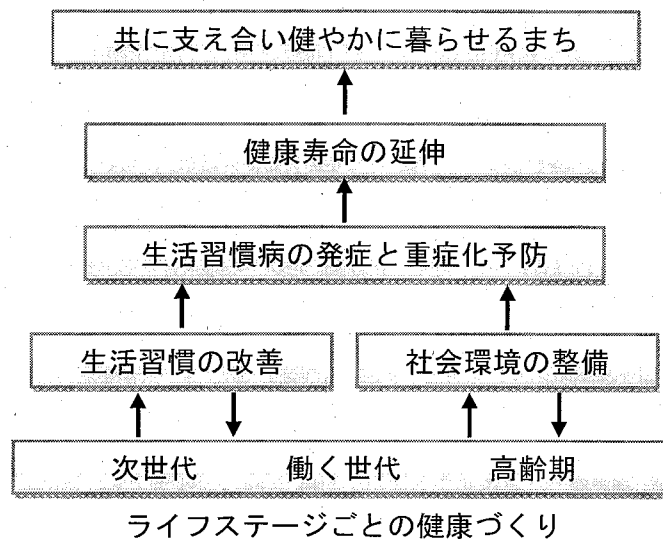
好ましい生活習慣の形成や改善など、世代ごとに異なる課題に応じるため、次世代から高齢期までのライフステージごとの健康づくりを推進します。

※ COPD（慢性閉塞性肺疾患）

主として長期の喫煙によってもたらされる肺の炎症性疾患で、咳、痰、息切れを主訴として緩徐に呼吸障害が進行する。かつて肺気腫、慢性気管支炎と称されていた疾患が含まれている。

6 健康づくりが目指す姿

各ライフステージにおける生活習慣の改善および社会環境の整備に取り組み、生活習慣病の発症と重症化の予防を推進して、健康寿命の延伸を図り、「共に支え合い健やかに暮らせるまち」の実現に寄与します。



〈 健康づくりが目指す姿 〉